

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|------------------------------------|-----------------------|-------|--|
| 1 | 【協働事業】 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業 | 認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 | 国際推進課 | <p>●足元をしっかり固めながら、外国由来の子どもたちの状態やニーズの多様化に向き合う努力に頭が下がります。担当課は、課として動ける限りの協働を進め、そのおかげで結果が出ていると理解しています。しかし、学習支援事業を続けるには、担当課はその本丸につながっている部署と連携する努力が求められていると認識します。</p> <p>●今後も増える外国人の子どもたちに対して学習支援の活動は、1団体の活動では限界があると思います。担当課は教育委員会とも連携を図り次の展開に進めていただくようお願いいたします。</p> <p>●多文化共生を考えていくためにもとても大切な活動だと感じました。今後も日本語を母国語としない子どもたちが増えてくると思います。人材確保と場所の確保が課題だと思います。教育委員会など行政とのタッグも必要だと思います。</p> <p>●本市では、近年、ベトナムをはじめ従来おいでになっていた外国籍の方々が増えている。それ以外でも、「内なる国際化」という意味でも重要な活動といえる。海外からおいでになった方々に、安心感を与えるということからも、ぜひ、このような活動は継続してほしい。松戸では、このような活動に携わる人材は多いと思うため、いかにその方々を巻き込むかが重要であろう。また、他の活動主体との連携を一層進めながら、市内の子ども食堂との連携だけでなく、他市との連携を深めていくことを希望する。</p> <p>●多様な人種の方が市内様々な所におられます。活動が広く周知されることを期待しております。</p> <p>●貴団体の活動も定着の段階から更なる発展の段階へと移行しているものと感じました。課題も認識されている中で、様々なご苦労もあると思いますが子どもたちの未来のために貴団体の発展を祈っております。生徒の増加に伴い、今後の会場確保について更なる対応が必要と考えます。</p> |

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---|-------------------------|--------|---|
| 2 | 【協働事業】 地域まるごとで孤育 てを予防する連携シ ステム事業 | まつどでつながるプ ロジェクト運営協議会 | 子ども政策課 | <p>●検討ワークショップで子育ての問題を深掘りし、関係者の認識をすり合わせするやり方は、地域円卓会議の価値を高めたと評価します。とくに担当課において、検討ワークショップのやり方は政策をつくっていく苗床になり、協働の副次的な成果を得たと考えます。</p> <p>●地域円卓会議の開催について事前に検討されテーマを設定、多くの子育て支援に関わるメンバーと情報共有することは、担当課、政策にとって有意義なことであり、協働事業として大きな成果があったと思います。また、子育ての孤立予防のための子育て市民サポーター養成は、今後の活動の受け皿として修了者交流会など企画してはいかがでしょうか。次のステップアップにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>●地域で子育てを見守る事業として、とても大切な活動をされていると思いました。様々なサポーターがより多く集まることを期待しています。市内にも潜在保育士が多くいると思いますので、そういった方々にも協力してもらえると良いと思いました。</p> <p>●地域でこれまで活動されてきた経験と実績に基づく活動である。公共ガバナンス(協働)による統治。すなわち協治に適った現代の課題解決の手法であり、大いに評価できる。問題となるのは、財源(資金)と人材ということになるが、人材については地域の素晴らしい皆様の力が期待できる。財源を今後どのように集めるかということになるが、市側も是非、協力して松戸を盛り上げて、住みやすい松戸になることを願う。</p> <p>●市内広域でサポーターの方が点在しているといいと思います。実際にサポーターの方が声かけ等の活動された例など聞かせてほしいです。</p> <p>●地域円卓会議については、順調に事業が進捗されていると思います。対話に出されていた今後に向けたアイデアを生かしながら、引き続きよろしく願いいたします。市民サポーター講座について、参加者人数が目標数を下回ったとのことですが、周知方法を工夫するなどして一人でも多くの方が参加できると良いと思います。</p> |

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---------------------------------|----------------------------|-------|---|
| 3 | 【協働事業】 「まつどの介護」プロ モーション事業 | 特定非営利活動法人 SmileResource | 介護保険課 | <p>●SmileResourceは、協働事業の枠内でやれることはやったと思います。担当課は、そのバトンを継いで、介護事業を紹介するコンテンツを有効に活用することが重要であり、その取り組みに期待します。</p> <p>●「まつどの介護」を知らせるPV作成、高校生の参加が頼もしいですね。中学校での上映会もよい試みであったと思ひ、今後も教材のひとつとして活用するのもいいですね。</p> <p>●学生を巻き込んで、本市の「介護」を動画にし、「見える化」することは、担当課との協働事業として妥当なものであろう。現在の松戸の介護福祉を市民に周知し、市民だけでなく、他地域へもアピールすることもできる。若年層への普及啓発にも活用できる素材を今後活かしてほしい。また、子どもの事業との連携をされていることも評価できよう。これからはこの知的財産を活かすために担当課と団体が連携・協働しながらこの事業で行った取り組みを続けてほしい。協働事業としても一旦区切りがついたと思うが、これからの新規事業に期待したい。</p> <p>●動画という「資産」の使い方は多様なポテンシャルがあろうかと思ひます。「作って終わり」にならないよう、市役所内の他の課も巻き込んだりシティプロモーションに生かしたり、シビックプライドの醸成に活用したりと、多くのステークホルダーと共に使用されることを期待しています。</p> <p>●動画がしっかりと作られていてすばしかったです。再生回数からも活用されている状況がうかがえました。動画制作をされた方たちがよいものを作ろうと取組まれていたのだと感じました。コンテンツの趣旨で考えると、コメント欄は無理にあけておかなくてもよいのかな、と思ひます。動画編集など、クリエイターを育てる側面もある取組みだと思ひます。協働事業としては満了とのことですが、課題解決にクリエイティブを活用するアプローチを今後も活かして活動されていくことを期待いたします。</p> <p>●介護職の離職問題は、介護保険制度の根幹を大きく揺るがす課題であります。この課題解決に向けて取り組んだことは大変意義のあることだと思ひます。</p> |

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---------------------------------------|------------|-------|--|
| 4 | 【協働事業】 町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業 | できる街プロジェクト | 市民自治課 | <p>●できる街プロジェクトは、団体の得意技を活かし、町会・自治会への親近感を醸し出すことに励んできたと評価します。担当課は、市民向けのパンフレットや市報に加えてアニメと漫画を手に入れたので、それらの媒体の特性を使い分け、または組み合わせ、町会・自治会の加入率低下の抑制に努めてもらいたいです。</p> <p>●自治会活動の概要をわかりやすく表現されているアニメを10話まで完成されたこと、おめでとうございます。自治会会長さんへのヒアリング、内容の検討を重ねたことで、理解が深まり、思い入れを感じます。今後はより多くの市民、転入者、若い世代の方々にいかに視聴していただくか、担当課の役割ですね。</p> <p>●アニメ、漫画を使った切り口がとても面白いと思いました。内容も可愛らしく様々な人に見てほしいと思いました。より多くの人に見てもらおう手立てが必要だと思いました。</p> <p>●松戸市にとって地元の町会・自治会との協働・連携は欠かすことのできないものである。その意味で、町会・自治会の加入率を高めることは必須であろう。これは、日本各地での重要な課題である。当該事業は団体と担当課が明確な役割分担の下、いわゆる協働の理想的といえる事例となる。それだけ今後も期待できる素晴らしい取り組みであるといえよう。この事業を継続するために資金は必要である。これを課の1つの事業へと固定化することも考えられる。担当課のご尽力に期待できる。</p> <p>●周知活動に行政の力を更に活用しながら工夫されると良いと思います。現在松戸に住んでいる方に見て頂きたいです。</p> |

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|-----------------------------|--|---------|--|
| 5 | 【協働事業】 料理教室を通じた父親の意識改革事業 | MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル | 男女共同参画課 | <p>●お菓子を子どもと父親と一緒に作るについて、団体はやれることはやった。協働事業を離れた後でも、この事業を継続する場合は、受益者負担で資金調達するのが適当だと考えます。担当課には、この協働事業で得た知見から親の態度変容に効果的なやり方を手に入れることを期待します。</p> <p>●お菓子づくりという楽しいテーマで父子が集い、家事や育児への参加のきっかけとなったことは、参加者の感想からうかがえます。また、参加費を徴収して開催され、参加人数を確保できたことは、今後活かしていただきたいと思います。</p> <p>●とても良い活動だと思いました。男親の家事、育児参加にも繋がっているところが素晴らしいです。子どもにとっても父親と参加することはいい思い出になると思います。子どもたちが親になった時にもいい影響があると思います。今後も継続して行なってほしいと思います。</p> <p>●従来、料理などの家事育児は女性の仕事だと考えられてきた。父親が子どもと一緒に共同作業としての料理をすることにより、いわゆる「社会分業」を変えていくという注目すべき活動である。このような「男女共同参画」の意識改革の取り組みは続けてほしいと願うし、子育てに対しても期待できる取り組みである。今後、資金獲得を目指して何らかの対策を立てるなど、担当課の方々のご助力をお願いしたい。</p> <p>●参加しやすい内容になっていました。多くの方に活動を知って頂くことや、イベントの告知ができるとうれしいと思います。</p> <p>●今回、材料費相当分として参加費を徴収したことは良かった取り組みと評価します。アンケート回答からは、参加されたご家族の笑顔が目に見え、嬉しかったです。協働事業としては令和5年度で終了となりますが、事業で培ったノウハウを別の形で生かしていただければと思います。</p> |

令和5年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---|--------------------|---------------------|--|
| 6 | 【協働事業】 まつど de SDGs の 輪を広げようプロジェ クト事業 | まつど地域活躍塾つ ながりの会 | 政策推進課 SDGs推 進担当室 | <p>●SDGsの理念と行動を松戸市内へ定着させようとする想いは十分に評価します。その想いにより様々な取り組みを計画しましたが、団体の事業遂行力を超過し、結果的に負担金の精算額が74%になったと考えます。自団体の力量を見誤らないようにしてください。</p> <p>●団体として代表者以外の顔が見えない印象があり、事業計画の未達成になったのではないかと。団体として取組むことが大切かと思えます。地域学習会で使用する市民向けSDGs教材の作成ができなかったことは残念です。</p> <p>●地域活躍塾のOBたちが1つの目標に向かって事業をすることはこれから市民活動を担う人材育成という点からも評価できよう。また、地元大学の学生らともコラボし、活動を継続していくことについては重要である。involvement「包接」という観点からも地域学習も有益であろう。一つ不安があるとすれば活動が多岐にわたりすぎるとのではないかと懸念がある。現在は盛り上がっている当該事業であるが、大きくするならばもう少し予算を消化すべき事項を増やすべきであろう。持ち出しがあるのはよいが、今後のことを考えると「出すところは出す」方がよいと思われる。</p> <p>●SDGsという世界規模の取り組みの理念が、適切に反映された事業になることを期待しています。現状は、「もったいない」や「困っている人をボランティアで助けたい(施しをする)」という取り組みが多く、「持続可能な」事業になっていないように感じているので、松戸で「本質的な」取り組みが増えていただけたら幸いです。</p> <p>●来年度も継続実施とのことで、志半ばの取組みも多くなってしまった面があるのかと感じました。取組みに対する一定の成果はあったと思うのですが、その成果を周知する部分を実施できずに終わってしまっているのがとても残念に思いました。特にコンテストについては、参加された方たちを称える意味でもしっかりと周知の場を作っていくことが大事だと思いますし、それが次回につながっていくのだと思います。印刷物とウェブ媒体を同時に進めようとしている印象を持ったのですが、ウェブ媒体は細かく更新していけることがメリットだと思いますので、とりまめが途上であってもまずは発信するために公開していくアプローチを取っていただくのがよいと感じました。</p> <p>●SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」のスローガンのもと、一人でも多くの市民が理解するための啓発活動等に取組んでいることは素晴らしい取り組みだと思います。また、小さなことから、出来ることから行動に移すことにより、よりよい地域社会が構築されるものと考えます。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|--------------------------------|---------------|-------|--|
| 1 | 【スタート助成】 不登校の子どもたちの居場所づくり事業 | NPO法人EdFuture | | <p>●不登校の子どもの親、不登校の経験者にとっても居場所が大切であることを発見したのが、本事業の思わぬ成果です。その知見をもとに今後の事業に取り組まれることを期待します。一方、助成金の精算額が54%に達しているのは、事業計画もしくは予算見積の甘さを表していると解釈します。今後の不安要因になる恐れがあります。もったいなくせずに生きたお金にする工夫が団体の力を高めます。</p> <p>●「今後の事業展開」に書かれていることが今回の事業での気づきであり、今後に期待します。特に不登校家族へのケアについて団体内でよく検討していただくようにと思います。</p> <p>●とても大切な活動をされていると思いました。活動を通してご家族の支援の大切さに気づけたことは収穫だったと思います。不登校の理由は様々だと思いますが、一人一人に向き合った活動になるかと思います。これからも頑張ってください。不登校への理解も発信していただけたらと思います。</p> <p>●コロナ以降、不登校の子どもが増えている。通学に関してもコロナ禍にはさまざまな問題があり、授業が開始されると、さらに不登校の児童・生徒が増加している。その意味で当該事業はまさに現在期待できる活動といえよう。様々な情報ツールで、この取り組みを市内に広く周知して頂くことを望みたい。これからもこのような活動を継続してもらいたいので、是非頑張ってください。子どもだけでなく、保護者を含めて多くの方々に参加できる体制の充実を期待したい。</p> <p>●不登校は今後も増えると思います。早い時期に社会とのつながりを持てることで救われることもあると思います。親への支援も重要です。学校と連携が取れると次につながる可能性があると思いました。</p> <p>●年々不登校の児童数が増えている中で、貴団体がこの問題に取り組んでいることについてまずは敬服いたします。当該児童にとっては、外出そのものが心理的ハードルが高いことに改めて認識するとともに、家族のケアも非常に大事な視点であることを学びました。教育委員会などの行政機関と連携するともっと良いものになると感じました。地域で見守り、育てる視点も必要と思いますので町会・自治会などの地域団体とも協力することにより、更に良い取り組みになると感じました。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|------------------------------|------------------------------|-------|---|
| 2 | 【スタート助成】 「おひとりさま安心生活相談」事業 | 特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ | | <p>●おひとりさまの安心生活の切り口は、当事者やケアマネージャーに需要があると確認できた年度だったと思います。その知見を活かして、活動の成長を期待します。 助成金の精算額が85%であったことは、活動計画もしくは予算見積の甘さを表していると解釈します。活動を続けていくうえで不安材料です。もったいなくせずに生きたお金にする工夫は団体の力を高めます。</p> <p>●専門性を活かした相談会の開催は、業務との兼ね合いが難しいかと思えます。相談は無料としても多くの場合は業務につながります。市民活動の対象としては講演会の開催などがよいと思えます。</p> <p>●高齢社会において、重要な事業である。講演会、相談会などどのような専門家を選ぶかということがまず求められる。その際、情報などが集められているということは評価できる。つぎに、どこにつながるかということです。成年後見の場合は当該団体が自ら動くわけではないと思うので、司法書士会等に連絡したり、つないでいくことが必要かもしれない。今後、本市のためにこの活動を継続して頂くことを期待する。その際、持続可能な運営等を行うために、ボランティアだけでなく、パーマネントの職員の雇用を望みたい。</p> <p>●老後の課題は一人ひとり異なります。相談者のニーズの洗い出しや仕分け等利用しやすくしていくと良いと思えます。</p> <p>●松戸市内に「おひとりさま」はどれくらいの人数、いらっしゃるのでしょうか。潜在的なニーズの、どの程度の割合までサポートまたはリーチできているのか、明確に説明されると良いように思いました。また、特に広報については、説明や実施事業が専門家目線にかたよっていて、肝心の「おひとりさま」の目線が欠けているように感じられました。イベントの情報を、「おひとりさま」の方々がどのように受けとっておられるのか、リサーチされると良いかもかもしれません。</p> <p>●広報まつどによる周知が効果的であったことはとてもよかったと思えます。ただ、ひとつの広報手段ではどうしても届かないところがあると思えますので、広報費を活用してより広い周知をおこなっていただけるとよりよいと感じました。また、この取組みを必要とされる方には長距離の移動が難しい方もいらっしゃると思えますので、開催場所を市内複数個所で実施していただけると、より参加しやすくなるかと思えます。参加された方の中には取り組みについて誤解されている方もいらっしゃるのとことでしたが、そういった点を解消するため取り組みについてわかりやすく説明されたパンフレットなどご用意いただくと、よいのではないかと感じました。そういった部分でも費用でまかなえる部分を活用して、無理を減らして実施していただければと思います。</p> <p>●当事業においては、障がい者も対象にしていることから、基幹相談支援センターにも周知することにより相談の輪が広がると思えます。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---------------------------|-----------|-------|--|
| 3 | 【スタート助成】 松戸市内廃棄食糧再利用事業 | おからを食べよう会 | | <p>●食品ロスを抑制するために、おからを象徴的に取り上げたのは良かったと評価しています。しかし、結果にうまく結びつかなかったのは、やり方に問題があると考えます。今後の事業展開で記述されているように、やり方の検証と改善に臨み、活動を再構築されることを期待します。</p> <p>●食品廃棄物の削減を目的にするのであれば家畜の飼料にするなどの取組事例があります。今回は小売りの豆腐店のおからを美味しく食べることの提案を通して削減しようという試み。店頭でもおから料理のレシピや試食などでおから料理の普及を追及していただきたいと思います。おから料理は栄養面でも優れているし、何よりおいしいですね。</p> <p>●おからを使った活動が健康と結びついているのが素敵だと思いました。InstagramなどのSNSを上手く使っていて良いと思いました。写真もとても綺麗に撮れていて良いと思いました。引き続き活動を楽しみにしています。</p> <p>●趣旨は大変良いものである。また、地道な努力をされていることも理解できる。しかし、参加者が少ないという評価指標が低い。そのため、カネもかかっているように見られる。これは、コロナ禍が原因であろう。今回は致仕方ないが、このような取り組みはSDGsが叫ばれる今日では非常に重要な活動といえる。当該事業の真骨頂はこれからである。定量(数値)では測れないところは、定性的に(作文をする)カバーをしながら松戸市のために頑張ってください。</p> <p>●食品ロスの問題は日本では注目すべき課題です。小学校や学童などでカリキュラムとして取り組んでもおもしろいと思いました。</p> <p>●食品ロスの問題を掲げて取り組む企業等のニュースを拝見する中で、市民活動のレベルで取り組まれたことは素晴らしいことと思いました。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|---|----------------|-------|--|
| 4 | 【スタート助成】 四世代のきずなで、 豊かな生活環境を実現する事業 | 小金原みんなでわくわくする会 | | <p>●2023年度は、勉強から実践へ移行した年になったと思います。SWOT分析により地域で取り組むことを特定化し、SDGsで意味づけしたことが、活動の土台をつくったと評価します。</p> <p>●町会活動をSDGsに紐づけて計画を立てることが新しい発想だと思います。また、SWOT分析手法を活用するという試みも活性化につながるのではないかと思います。ただ、計画を立てることで終わりがちになる傾向があり、少しでも実活動に活かしていくことに期待します。</p> <p>●地域課題の解決と世代間交流を目的とした有意義な活動である。ワークショップをはじめ、様々な手法により、自らの意見集約を行う模範となる事業であろう。地域の安全安心のために、町会とも連携しながら地域づくりに寄与されていることは評価できる。そのため、ぜひ、この事業を持続可能としてもらいたい。その際、地元の団体とさらなる連携を進めていくことをお願いしたい。小金原地区はこれまでも素晴らしい活動をしていた団体もある。多くの蓄積を踏まえた事業となることを期待する。</p> <p>●地域で顔が見える活動はそのまま地域の強さに直結します。他の地域への広がりがあると強い松戸になると思います。広がりについては行政の支援も必要と思います。</p> <p>●「若い世代を取り込む方法／興味を持ってもらえそうなテーマ」が、高齢の方が自身の過去の経験から考えた雰囲気をかもしているの、若い方々の行っている他の活動を参考にしながら活動を設計していくと良いのではないかと感じました。</p> <p>●地域の活動をより活発にするために課題・目標を明確にして主体的に活動されていることに感銘を受けました。今後、各世代の参加者がより多くなるよう工夫をしていただけると、よりよい取り組みになるのではないかと思います。世代によって情報を取得する際に活用しているツールも様々だと思いますので、それぞれに合ったツールをまんべんなく活用できるとよいのではないかと考えました。現在のメンバーでフォローしきれない部分をフォローしてくれそうな方を単純に募集してみてもよいのかもしれません。</p> <p>●自分たちが住む地域を自らの手で良くして行こうとの活動は素晴らしい取り組みだと思います。しかしながら、参加者が限定的であるとのことから、周知・啓発に工夫をしながら参加者の輪を拡げていって欲しいと期待します。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|--|-------------------|-------|---|
| 1 | 【ステップアップ助成】 みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業 | エディブルウェイプロジェクトチーム | | <ul style="list-style-type: none"> ●目の前の活動を着実に進めていくことと並行して、団体が自走する土台づくりに取り組んでいる努力に頭が下がります。 ●沿道での食べられる景観事業がコミュニティづくりをさらにすすめることができたと思います。種取り、交換、育苗などの工夫したプログラムで多くの人に関心を広げ、楽しさが伝わりました。この事業が協働事業として取組むことで、さらに他地域へ広がることに期待します。 ●まず長年に渡り活動をしているプロジェクトなのが素晴らしいです。景観に関するまちづくりや、人が交流する場を創出しているのが良いです。プロジェクトのキーデザインもしっかりできているので、他の市民活動にも良い影響を与えられると思います。引き続き様々な人を巻き込んで頑張ってもらいたい活動です。 ●「街づくり」の手法としては評価できる取り組みである。また、「食べられる景観」づくりという事業はSDGsを推進する松戸においても重要な取り組みといえよう。プランターの数に限りがある中で、今後、どれくらいの市民を巻き込んでいくか、それができるかが求められる。それ以外の活動も注目に値する。これからも核となる千葉大学園芸学部との連携つながりを充実させて、地域のためにご活躍されることを期待したい。 ●様々な理由で参加したくても参加できずにいる方にも情報を受けとることができたり、一緒に楽しむことができると広がっていくと思います。 ●令和6年度から協働事業としての活動となりますが、当活動が更に活発になるとともに協働事業としての強みを生かしながら市内に横展開出来れば素晴らしい取り組みだと思います。リレー栽培の導入によって土の入れ替え作業等が軽減されたとのことですが、活動を継続していくためには効率化の視点も重要なことであると感じました。 |

令和5年度実施分市民活動助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|-----------------------------|---------------------------|-------|---|
| 2 | 【ステップアップ助成】ときわだいらオープンアトリエ事業 | 特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター | | <p>●表現するという本能に響く事業の2年目の取組は、いろいろな人たちを巻き込む敷居を低くし、場面によっては「主役」になれることを実証した価値あるものであったと評価します。</p> <p>●暮らしの中にアートを取り入れることは心のゆとりを生み出すことと思います。楽しいプログラムの企画に専門性を感じ、本来の暮らしの豊かさを届ける活動に期待します。</p> <p>●「ソーシャル・キャピタル」の醸成に文化・芸術をツールとして、常盤平地区の地域のつながりを築き、いわゆる孤立化の防止のために実践する当該事業のあり方は、日本的にもこれからの社会に重要なものである。演劇などをツールとして、地域の人々とのつながり(band)を作ることは成功事例もあり、この地域でも一層進めてほしい。また、いくつかの地域の団体や個人とのつながりなども実践されていることが評価できる。事業を行えば行うほど、人材の養成や参加者が増えるなどの効果も期待できよう。今後はこのノウハウを生かして、持続可能な活動をしてほしい。</p> <p>●既存の取組みに、活動を追加し、広げていく、という手法に感銘を受けました。活動の更なる発展と、多様な事業社・者とのコラボレーションを期待しています。</p> <p>●今回のオープンアトリエ事業は様々な取組みをされている中のひとつであることと理解しました。取組み間の連携があるからこそ生まれる効果があり、素晴らしいと思いました。今回のステップアップ助成で満了とのことですが、これからも様々な方法で取組みを続けていかれるのだと思います。よりよい取組みになっていくことを期待しております。</p> <p>●「継続は力なり」との言葉があるように、地道に息の長い活動をすることが大事な事と思いますので、引き続き頑張ってくださいと期待しています。今、社会が直面している孤立・孤独対策について、やはり誰かが寄り添うことが大事な要素であると思います。その観点から貴団体が取り組んだことは、参加された方にとっては心の安らぎに繋がったものと思います。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|--|----------------|-------|--|
| 3 | 【ステップアップ助成】 [生きづらさ・ひきこもり]一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業 | 生きづらわーほりプロジェクト | | <p>●手探りを繰り返しながら、当事者にとって為になるやり方を積み上げてきた中で、とくに風の家「はう」は、貴団体の事業モデルになると思います。限られたマンパワーの選択と集中で、当事者にとって有益な事業の柱になることを期待します。貴団体のこと、取り組んでいることを地域の人たちへ知ってもらう活動が今後大切になると思います。</p> <p>●「つたわり」の参加人数は目標には届きませんでしたがりピーターの方々が増えたことは、居場所として定着したことであり、継続した場の提供に期待します。「はう」の場開催は毎月2回定期的に開催され意欲的に参加されたのではないかと思います。ニーズがまだ多くあると思いますので、広報活動をさらに工夫し、必要な方々に情報を届けていただきたいと思います。</p> <p>●食を通じ、ひきこもり当事者への対応を行う当該事業の趣旨は、孤立・喪失感を生みやすい土壌のある現代社会において貴重な取り組みであると評価できる。地域にこのような活動があることは、松戸、ことに常盤平地区については大切な財物であるといえよう。さまざまな理由から閉鎖する社会では、国をはじめとしたサポート体制があるとは言い難い。そのため、資金、人材、情報なども自ら集めることが求められる。行政からの支援、他の団体との連携・協働を一層推進して頑張ってください。</p> <p>●まずは社会との接点を用意されているという点で活動の意義があると思います。次のステップとして仕事や奉仕活動など社会の中で居場所を作れると自立につながると思いました。</p> <p>●課題をかかえる方々へ向けた活動は、広報(対象となる方々へ、事業や団体の存在を伝える方々)が問題になることが多いです。一方、その部分をとても上手に行っている団体も存在します。ぜひ、他の団体の手法も参考にしながらせつかくの活動が、より多くの方々に届くようになることを期待しています。</p> <p>●各取り組みが段階的に結果をつくっている点が素晴らしいと感じました。ステップアップ助成としては満了とのことですが、可能であれば市との連携をより深めて協働事業として発展させていただきたいです。また、たい肥作り・ハーブ栽培は告知や人手の課題があり計画通りに進められなかったとのことですが、ある側面においては互いにメリットとなる活動をされている団体が松戸市内にもあるように感じました。そういった団体間の連携がうまれればと思っております。</p> <p>●孤立・孤独対策は国としても喫緊の課題の一つであります。そのような社会環境の中で貴団体が一生懸命に取り組んだことは素晴らしいことと思います。令和5年度を持ちまして市民活動助成事業としては終了となりますが、引き続き悩み・困っている人たちに寄り添っていただける事業を継続して頂ければ幸いです。</p> |

令和5年度実施分市民活動助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

| NO | 事業名 | 団体名 | 事業担当課 | 評価コメント |
|----|----------------------------------|----------|-------|---|
| 4 | 【ステップアップ助成】 冒険山開放に伴う見 守り事業 | 冒険山開放委員会 | | <p>●いろいろな楽しいイベント実施が冒険山開放日の子どもたちの集まりにつながる訳でないことが判った点は、活動の土台を整え直すヒントだと考えます。限られたマンパワーを振り向ける先の選択と集中の時期が来たと思います。</p> <p>●子どもたちの野外の遊びを支える活動は益々大切な活動です。野外活動で専門性を持っているガールスカウト、グランドゴルフ、ソフトボールチームなどの地域の団体に協力いただくこと、地域で子どもを見守ることにつながる良い取り組みだと思います。楽しいプログラムの提供を継続してください。</p> <p>●屋外で遊ぶ機会が少なくなっている子どもが増えている現在、とても重要な活動をされていると感じました。参加者が少ないことが課題と伺いました。けん玉は日本一の女子がいるなど、今松戸市で密かにもり上がっていると感じています。けん玉好きが休日に様々な場所で集まり楽しんでいます。こういった人たちとコラボをすることも一つの手段だと思います。InstagramなどのSNSを上手く使うと良いと思います。</p> <p>●いわゆる「里山」などを通した子どもたちへの自然を通した子育て、子育ての活動は、これからも持続的に活動してほしい。都心部といえる松戸の子どもたちは、日本の伝統的な自然を通した育ちは難しいだろう。その中で、校庭での竹馬、けん玉などの遊びもぜひ普及してもらいたい。当該団体の課題としては、「ヒト」と「場所」、他団体との連携であろう。教育委員会などともより連携し、公園管理担当課ともより積極的に協働することを期待したい。</p> <p>●団体の理念である「子どもたちの健やかな成長を願って」を掲げ子どもたち支えていく活動について、令和5年度をもってステップアップ助成事業としては終了となりますが、地域の子どもたちのために各種の課題を乗り越えながら引き続き取り組んでいただければと思います。大人と子どもが昔の遊びなどを通しながら、この事業に取り組んだことについて評価したいと思います。</p> |